



dōTERRA®

Frankincense

フランキンセンス : コ・インパクト ストーリー



樹脂の採取

フランキンセンス：エッセンシャルオイルの王様

エジプト、アッシリア、ペルシャ、マケドニアなどの古代文明で珍重され、聖書にも登場することで知られるフランキンセンスの樹脂。その歴史は長く、希少な香料や化粧品としてもたられるメリットは多くの人々を魅了し、時代や文化を超えて受け継がれてきました。その貴重な樹脂は、世界最古の国際的サプライチェーンだったと認識されています。

ドテラでは、アフリカ北東部やアラビア半島からフランキンセンスを調達し、4種類の樹脂（ボスウェリア・カルテリ、フレリアナ、パピリフェラ、サクラ）から丁寧に抽出されたオイルを独自にブレンドしています。

フランキンセンスの樹木が生育する環境や土質は、種類によって異なります。例えば、ボスウェリア・カルテリの成長には砂地が、ボスウェリア・フレリアナには乾燥した岩地が最適です。ボスウェリア属の中でも、フレリアナの樹木から最も多くの樹脂が採れます。

ドテラでは複数の地域から種類の異なる樹脂を調達し、それらをブレンドして、CPTG基準をクリアしたドテラ独自の構成成分を持つフランキンセンスのオイルを生産しています。

また、現在の調達地周辺でも、フランキンセンスを持続可能な方法で調達できる候補地選定を行っています。調達地が複数あることは、樹木の成長に最適な土地から種類別に樹脂を調達できるだけでなく、樹木の種類が偏るリスクも分散できます。

持続的な収穫

何千年にも渡り需要が高く、多くの人々から必要とされてきたフランキンセンス。樹木の生育地には、世界の中でも最も貧しく、開発が遅れている地域も含まれます。そのような地域では取り締まりもないため、サプライチェーンでは労働者が搾取されたり、過剰採取が横行することもあり、収穫者にとっても、フランキンセンスの樹木にとっても、好ましくない状況が生まれかねません。樹皮を切る量や切り込みの深さ、切る頻度を守られなかった樹木は、樹脂が過剰採取されたことを物語っています。エチオピアなど、樹木の自生地が農耕地や放牧地に転換された地域では、樹木の多くが切り倒されてしまいました。こうした生態系への影響が、樹木や生物の寿命を脅かしているのです。

ドテラが掲げる「純粋」を追い求めるには、フランキンセンスの持続的な調達のために信頼できるサプライチェーンが必要です。フランキンセンスの樹木を次世代に残していくための取り組みをドテラが率先して行っている理由はここにあり、この神聖で歴史ある樹木の研究や持続可能性への取り組みを積極的に支援しています。その取り組みによる成果と学びについては、第6回薬用・芳香植物世界学会(WOCMAP VI)で発表を行いました。

ドテラはパートナーと連携することで樹脂の採取や選別する人たちのネットワークを通じ、収穫サプライチェーンのトレーサビリティ(履歴管理)と透明性の向上に努めています。また、成功事例に基づく収穫マニュアルを作成し、パートナーの

協力のもと、情報ニーズが高い地域の収穫者から優先的に樹木の手入れの方法についてトレーニングを行っています。これらの取り組みを続けていくことによって、収穫者が樹木を適切に手入れして維持し、長く存続させるための知識を高めていくことを目指しています。

ドテラは樹木の繁茂にも積極的に取り組んでおり、原料調達地に苗木を植えるところから始めています。この取り組みは、フランキンセンスの樹木を長く存続させ、持続的収穫を得ることにつながっていきます。

オマーン

オマーンにあるドファール地方は、「アラビア半島の宝石」と呼ばれており、ドテラはこのボスウェリア・サクラの収穫者と連携しています。遡ること紀元前400年、ドファール地方は世界的な交易ルート「乳香の土地」の中心地であり、ここからフランキンセンスは世界中に広まってきました。オマーンでは、20年ほど前にフランキンセンスの森を文化遺産として保護・保存する政策が打ち出されています。ドテラが連携しているボスウェリア・サクラの収穫者は、定期的に樹木を監視し、専用の苗床や農園を所有して樹齢4~7年の樹木(数百本)と4年以下の樹木(数千本)を育成することにより、持続可能な収穫の実現に積極的に取り組んでいます。既存樹木への負担を減らし、幼木の誕生から樹木の繁茂へとつながれるのは、このような取り組みによります。2020年末までにオマーンに植えられたフランキンセンスの樹木は2万本以上にのぼりました。



繁茂を見据えて：
ボスウェリア属の樹木を育てる農園



樹脂の選別



ボスウェリア・サクラの樹木(オマーン/ドーファン地方)

エチオピア

ボスウェリア・パピリフェラを調達しているエチオピアにおいて、ボスウェリア属の樹木群に悪影響を及ぼしているのは樹脂の過剰採取ではなく、農場や住宅、商業用の土地の融通を目的とした土地転換や、樹木の伐採です。ドテラは、ボスウェリア・パピリフェラの森林再生を後押しするために最適な方法を積極的に模索し、エチオピアのフランキンセンス樹木群を再活性化させるための繁茂・持続的採取に向けたトレーニングプログラムの準備を進めています。

ソマリランド地域

ボスウェリア・カルテリとフレリアナの樹脂は、ソマリランド地域のサナーグ州に位置するカルマドー山脈で採取されたものを調達しています。ソマリランド地域の人口の約3分の1がこの地域に居住しており、フランキンセンスは住民にとって主な雇用創出源なのです。樹木は先祖代々受け継がれています。

ドテラは原料調達国の現地でチームを作り、

樹木の育成中に生じるトラブルに対処できるようトレーニングを行います。ソマリランド地域のチームは、初期の森林密度の定量データと樹木診断データの収集を行っています。

コ・インパクトソーシングの取り組みを通じて、ドテラはフランキンセンスのサプライチェーンにおける労働者のニーズにも応えられるよう尽力しています。その一環として、樹脂が採取される山脈一帯に倉庫を建設しました。これらの倉庫が協同組合として機能することにより、収穫者・選別者・管理者が同じネットワークに属すことになり、農村の収穫地域でも最大限に付加価値を産み出すことができるのです。

このネットワークは、収穫者に期日ごりの適正な賃金を支払うことや、食料・現金を前払いすることを可能にします。複数の仲買人を介する従来の流通システムとは異なり、フランキンセンスの収穫者・選別者から直接仕入れることで、サプライチェーンに関わる生産者たち

に安定した収入と生活、公平な雇用を創出することができます。





樹脂の採取過程

フランキンセンスのオイルの原料は、ボスウェリア属の樹木から分泌される樹脂、または樹液です。樹脂を採取するには、まず樹皮に浅い切り込みを入れ、にじみ出てきた樹脂を2週間ほどそのままにしておくと涙状のかたまりになるので、これをそぎ落として採取します。この過程を収穫期に何度も繰り返した後は、樹木を休ませます。

樹脂の「涙」は蒸留前に丁寧に洗浄され、サイズや色に応じて品質等級が付けられますが、これは昔から伝統的に女性が行ってきた仕事です。

ドテラは原料調達地と直接かかわることを方針としており、樹脂の採取・選別を行う人たちに適正な賃金を支払い、農村地域の調達地でも最大の付加価値を産み出せるようにしています。



サナーグ専門病院：2020年初めに完成



コミュニティの発展を促進：ドテラ・ヒーリングハンズ基金

フランキンセンスの収穫を通して、ドテラは多くの雇用創出に力を発揮してきました。

ドテラ・ヒーリングハンズ基金(HHF)による援助のもと、原料調達地の人たちの生活を豊かにするだけでなく、現地に学校を建設したり、住民の生活に必要な技能トレーニングを行うソーシャル・インパクト・ソーシングプロジェクトを支援しています。

ソマリランド地域、ウルウェイン族のリーダーたちは、子どもたちに教育を提供する目的のもと一致団結しました。HHFは彼らの取り組みを支援し、7歳から12歳までの子どもたちが通う学校建設のために資金援助を行いました。その学校は、13歳以上の子どもたちにも教育を受けさせるため、夜間にも授業を行っています。さらに、他地域に住む子どもたち100人以上にも教育の機会が提供できるよう、4つの教室を備えた学校が建設されました。

2017年にソマリアで発生した深刻な干ばつにより、人口の半分に相当する600万人以上の人たちが家畜や農作物を失い、壊滅的な被害を受けました。ドテラはこの危機的状況に素早く対応するべく、150万ドル(約1億6千万円)以上を緊急干ばつ

救援金として寄付し、この救援金は最も深刻な被害を受けた32の村にある4000世帯のために使われました。また、以前HHFが建設していた2つの学校は、この干ばつの中に救援センターの役割を果たしました。

HHFは現地パートナーと協力し、サナーグ専門病院(エリガボに位置する地域の非営利病院)の建設や、その他の教育・人道支援のために400万ドル以上の寄付を行いました。フランキンセンスの主要な調達地であるサナーグでの専門病院の建設は、この地域での深刻な医療ニーズに応じてのものでした。同専門病院は、2020年初めに第一段階として45床の病床、救急外来、外来診療部門、診断部門、産科・小児科を備えて開設されました。これまでこの地域では専門医による医療が受けられず、多くの住民は遠くの病院まで足を運ぶか、受診を諦めざるを得ない状況にありました。サナーグ専門病院はこの地区初の専門病院であり、ソマリランド地域のフランキンセンス調達地の中心で生活している何万人もの人たちに救命医療を提供できるようになりました。

HHFは、急務であるエチオピアの収穫地域の水をきれいにする活動にも積極的に取り組んでいます。

dōTERRA
pursue what's pure



doTERRA CPTG Essential Oils Japan 合同会社
〒106-0031 東京都港区西麻布3-5-5 doTERRA Japanビル
TEL:0800-100-0789(通話料無料) / 03-4589-2601
https://doterra.com/JP/ja_JP